



プラットフォームから生まれる共創とイノベーション PLATFORM2023 を開催 ゲストトークと学生たちのアイデアピッチの2本立て

名城大学社会連携センターは2017年の設立から毎年、セクターや組織の壁を越えた共創活動を推進すべく、先進事例に取り組むゲストを迎え、社会連携フォーラム「PLATFORM（プラットフォーム）」を開催しています。

社会がアフターコロナ/ウィズコロナに舵を切り始めているなか、オンラインコミュニケーションツールの進化により、共創に至るまでのスピードは、昨今ますます加速するようになりました。本会は、イノベーションに取り組む体制が育っていく「プラットフォーム」に着目し、その意義や必要性、可能性を再確認し、本学の教職員・各センター・学生と、学外関係者が今後の共創活動を加速させる機会として実施します。

7回目となる今回のテーマは「プラットフォームから生まれる共創とイノベーション」。プラットフォームを基盤に関係構築と共創実践を行う学外ゲストからの講演、また本学の共創実例と関係の深いステークホルダー4名を迎えたパネルディスカッション、そして本学学生・教員を中心とした共創・イノベーションプロジェクトのピッチ（プレゼンテーション）を行います。時代の変化の捉え方、実践している共創、未来について、ヒントが得られる貴重な機会です。どなたでも参加可能です。

<こんな方におススメ>

- ・社会連携に関心のある学生・教育関係者・企業・自治体・NPO等のみなさま
- ・オープンイノベーション、共創に関心のあるみなさま
- ・新規事業開発・起業などに関心のあるみなさま など



日時	2023年12月14日（木）16時～18時	
会場	名城大学ナゴヤドーム前キャンパス 北館3階 DN301	
定員 申込	100人（無料、申込締切：12月10日（日）17時） 参加申込： https://bit.ly/platform2023_apply ※懇親会に参加の方は参加費1,000円（1ドリンク+軽食）	
対象	社会人、学生、教育関係者など、どなたでも参加可能	
主催者	[主催] 名城大学社会連携センター [共催] Tongali プロジェクト	
お問い合わせ	社会連携センターPLAT E-mail： ccr@ccml.meijo-u.ac.jp	

【タイムテーブル】

第一部「プラットフォームから生まれる共創とイノベーション」	
16:00～	開会・あいさつ・趣旨説明
16:10～	基調講演 「プラットフォームを基盤とした関係構築と共創実践がうまれる産官学連携のエッセンス」 西村 勇哉氏（NPO 法人ミラツク 代表理事・株式会社エッセンス 代表取締役）
17:10～	名城大学内の共創事例の紹介・報告 ・学内教員の立場として： 谷田 真 氏（名城大学工学部建築学科准教授・博士(工学)・小さな仕掛け製作所主宰） ・学外共創パートナー（企業）として： 園部 祐大 氏（名古屋ダイヤモンドドルフィンズ事業計画課長） ・学外共創パートナー（地域）として： 宮原 知沙 氏（フリーランス・ヤマラボ企画・運営事務局） 井久保 詩子 氏（山添村「交流施設 Soyel」戸締（とじまり）役・奈良県「奥大和コミュニティマネージャー育成プログラム」一期生）
	パネルディスカッション 「プラットフォームから生まれる共創とイノベーション」
17:50～	閉会・あいさつ
第二部「活動ピッチ等・交流会・ネットワーキング」	
18:30～	○活動ピッチ&ポスターセッション 起業を目指す学生、学生主体で活動する団体、本学教員など10団体程度から1分間の活動ピッチやポスターセッション ○交流会&ネットワーキング
20:00	第二部 閉会

【取材要領】

腕章着用にご協力をお願いします。

取材していただける場合は、12月13日（水）15:00 までに koho@ccml.meijo-u.ac.jp へメールでお知らせください。タイトルは「PLAT フォーラム/社名」とし、本文には①部署名 ②担当者名 ③電話番号 ④参加人数をご明記ください。

なお、本学ナゴヤドーム前キャンパスには駐車場がありませんので、公共交通機関やタクシーでお越しください。